

1. 担当教員：伊藤 大雄（連絡先：農学生命科学部総務まで）

2. 課題名：リンゴにおける平棚仕立て栽培技術の開発

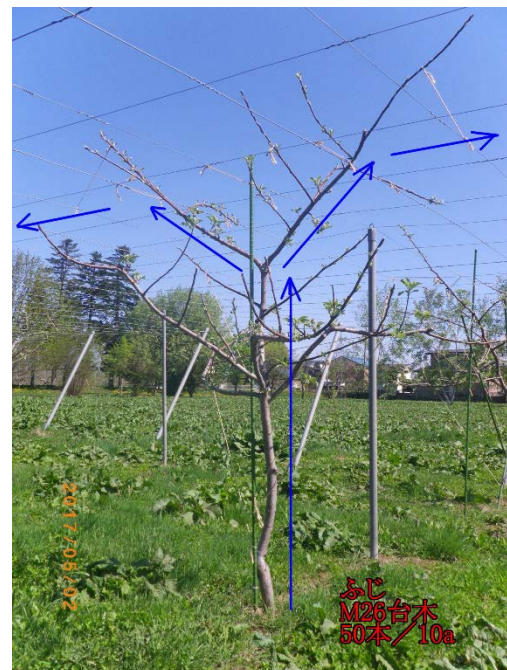
3. 概要：平棚仕立て栽培は全ての作業で脚立が不要となり、画期的な省力・軽労働化が期待できるが、先行試験において、徒長枝が乱立するために剪定に多大な労力を要し、花芽が不足して収量が若干少ないなどの問題点が明らかになった。そこで 2014 年に全面改植して台木や整枝法を見直し、7 試験区 41 樹よりなる新たな平棚仕立ての実験圃場を造成した。本研究はこの実験圃場を利用し、省力・軽労働で早期から相応の品質・収量が得られる台木・整枝法の組み合わせを実証的に解明し、将来は収穫ロボットにも対応できる生産技術体系の確立を目指す。なお数年後には一部の試験区で樹体ジョイントなどの新技術を導入する予定である。

4. 参考資料：



M26 台木に接ぎ木され、10 アール当たり 100 本の密度で植えられたリンゴ樹。1本の主枝を平棚に沿って矢印の方向に伸長させ、隣接樹に接したらジョイント（接ぎ木）する。

（2017 年 4 月撮影）



M26 台木に接ぎ木され、10 アール当たり 50 本の密度で植えられたリンゴ樹。2本の主枝を平棚に沿って、それぞれ矢印の方向に伸長させる。

（2017 年 4 月撮影）